

図書館だより

附属図書館ホームページ <http://www.lib.akita-u.ac.jp/>

菅江眞澄の道を辿って [24]

藤里町、素波里湖付近の春紅葉。

春の日を透かして見ればうすみどりの 木ふじの花房

枝先に垂れり

斎藤康子

秋田大学名誉教授 山本穆彦氏 画



Contents

巻頭言 大学改革における
大学図書館の役割
秋田大学 附属図書館長
麻生節夫 2

特集 アクティブラーニング... 3-5

ご寄贈いただいた図書の紹介... 6

学習相談は「としょサポ」に
おまかせ/
学外から電子ジャーナルが
利用できます 7

図書館活動この1年 8

学生選書員って何??/
図書館利用Q&A 9

お知らせ/編集後記10

秋田大学附属図書館の理念

- 1 高度な学術情報の収集と公開体制を確立し、学習・教育・研究活動を幅広く支援する。
- 2 学習者・教育者・研究者及び市民の情報収集を支援し、学術研究交流の振興に寄与する。
- 3 学術情報発信拠点として大学の知的財産を社会に還元し、学術文化の発展に貢献する。

巻頭言

大学改革における大学図書館の役割

秋田大学附属図書館長 麻生節夫



「情報リテラシーに関するアクティブラーニングをラーニング・コモンズで行い、その授業内容をデジタル化し、オープンエデュケーションの一環としてインターネットで公開するとともに、その教育成果をまとめてオープンアクセス化の手段のひとつである機関リポジトリで公開した。」これは現在の図書館の役割に関わる重要なキーワードで作成した文章です。これらのキーワードの背景にあるのが、大学改革が必要とされている2つの課題です。一つ目は学生の自主的学習時間の不足、二つ目は大学の知的存在感や国際競争力の低下です。

一つ目の課題に対する具体的な指針は以下のとおりです。

学修者が能動的に参加するグループディスカッション、ディベート、グループワークなどを取り入れた発見学習、問題解決学習、体験学習などを実施して、授業外の自主的学修習慣を涵養する。こうした学習の場として、電子情報や書籍などの学修に必要な情報資源を提供するとともに教員、図書館スタッフ、TAなどによる支援を提供する環境を整える。そして、学生参加型の教育を推進することで、学生が交流する活気あるキャンパスを構築し、情報リテラシーを身につけ、生涯学び続け、主体的に判断するグローバルに活躍できる人材を育成する。さらに、オープンエデュケーションの導入や推進による教育方法の革新や教育力の向上を図る。

また、二つ目の課題に対する指針は以下のとおりです。

大学全体の教育・研究成果を収集・電子化した機関リポジトリの機能を強化し、国内外に発信する大学情報の利活用の促進を図ることで、現在、世界規模で拡大しているオープンアクセス、オープンサイエンスに対応する。なお、オープンアクセス・オープンサイエンスに関しては、内閣府や文部科学省の審議会等で議論が進められており、科学研究費補助金等の「公的研究資金による研究成果のうち、論文及び論文のエビデンスとしての研究データについては、原則公開としその他研究開発成果としての研究データについても可能な範囲で公開することが望ましい」などの考え方が示されています。

現在、秋田大学附属図書館では、冒頭にあげた2つの課題に関連し、昨年度公表した「秋田大学附属図書館の将来構想を考える(提言)」を踏まえ、今年度中にはアクティブラーニングに対応する新たな図書館の利用法について提案させていただく予定です。また、オープンアクセスに関しては、すでに機関リポジトリの推進を図っているところですが、今後の国の審議会等の動向を注視しながら対応していきたいと考えております。

皆様におかれましては、引き続き図書館の運営に対して忌憚のないご意見やご要望をお寄せいただくとともに、これまで以上に図書館のご利用をお願いいたします。

アクティブラーニング

附属図書館では、皆さんの能動的な学修を応援するべく3つの柱からなる支援を行います。



I 人的支援

アクティブラーニングのサポート役として以下のサポートを行っています。



● サービスデスクでの相談受付

【中央図書館としよサポ】

学生からなる学習相談員。学習に関する悩みを一緒に考えます。図書館の使い方や資料の探し方についても相談可能です。詳しくは、p.7(としよサポ紹介)をご覧ください。

【図書館職員】

図書館の基本的な使い方や資料の探し方を案内します。

15:00～16:15の間は情報サポートデスクを開設(中央図書館のみ)。司書資格を持つ職員がより高度な検索方法などを案内します。

【医学図書館学生アルバイト】

医学図書館で17:00～22:00の間、図書館の使い方などを案内します。

● 文献検索講習会

主にCiNii・Scopusの使い方を解説します。基本的にこちらで設定した日時・場所で開催しますが、以下の場合は相談に応じます。

- ① 8人以上のグループまたは研究室やゼミ等の単位での講習を希望する場合
- ② 正規の時間以外を希望する場合
- ③ 講習の内容について要望がある場合

〈要望の例〉

- ◎ 国内編と外国編の両方をやってほしい。
- ◎ 理工系なので専用データベースJDreamIIIの使い方を詳しく説明してほしい。(研究室やゼミ単位での講習を希望される場合のみ)

その他事情により開催する場合があります。

また、年に数回専門の講師によるScopusや文献管理ソフトの講習会を開催しています。

● 図書館利用ガイダンス

1年生へ向けて図書館利用に関するガイダンスを行っています。実際に図書館内を回りながらの説明も可能です。

● 情報リテラシーに関する授業

情報の探し方や扱い方に関する授業を開講しています。(授業名「情報と知識・技術 I - 実際に役立つ学習技術 -」)

II 情動的支援

従来の紙媒体での情報資源の他に電子媒体での提供を進めています。



● 電子ジャーナル

Scopus等の論文検索データベースから論文がクリック一つで入手できます。

さらに学術認証フェデレーションに参加したことにより、学外から電子ジャーナルを入手できるようになりました。学認について詳しくはp.7(学認紹介)をご確認ください。

● 電子ブック

就活本や英語多読用リーダー等を読むことができます。

● データベース

「JapanKnowledge」など簡単に信頼性の高い情報が検索できるデータベースを提供しています。利用できるデータベースは図書館ホームページにまとめています。図書館HP「検索ツール」からご確認ください。

● サポートコーナー図書(中央図書館のみ)

学生のニーズに合わせて、以下の3種のテーマについて書かれた資料をまとめて配架しています。

- ◎ 情報サポート 情報検索、ライティング、プレゼンなど
- ◎ 英語サポート 英語資格取得、多読用図書
- ◎ キャリアサポート 就活や企業について

● シラバスコーナー

シラバスに参考図書として掲載された図書をあつめたコーナーです。

Ⅲ 物理的支援

アクティブラーニングに必要な場所や機器を提供しています。



【開放スペース】

● 座席スペース

広めのテーブルや可動式の机、ホワイトボードのあるスペース。自由に席のレイアウト変更が可能なので思い立ったらすぐグループワークが始められます。

● PCコーナー

隣席との仕切りが無いPCがあり、画面を見合いながらの話し合いが可能です。

● プレゼンコーナー(中央図書館のみ)

プレゼンやプレゼン練習のためのスペース。仕切り等が無い刺激的なプレゼンスペースです。利用申込は不要ですが、確実に利用したい場合は予約ができます。

● ラウンジ(医学図書館はブラウジングコーナー)

休憩のためのスペース。図書館内では唯一食事ができます。

● 作業スペース

ホチキスやパンチなどの文房具があり、簡単な作業ができるスペースです。

場所提供.....

中央図書館・医学図書館共に1階全体をcommonsと名付け(書庫は除く)アクティブラーニングのためのフロアとしています。

commons内は、会話OK、飲み物(密閉できる容器のみ)OK、ノートPC等のコンセント利用OK、無線LAN接続OKです。

commons内は【開放スペース】と申込が必要な【仕切りスペース】があります。

【仕切りスペース】

● グループ学習室

仕切られた空間でディスカッション等を行いたい人のためのスペース。周りを気にせず話し合いができます。中央図書館では仕切りが取り外しできます。

● 学習個室

1席部屋と4席部屋があります。1席の部屋でも予備の椅子を使用して2名利用が可能です。もちろん一人で集中したい時にも使えます。

● 研修室

大人数での話し合いのためスペース。学外の研究者を招いての発表など研修以外の目的にも使えます。

● 視聴覚室(中央図書館のみ)

視聴覚資料を利用したグループ学習を行うための部屋です。館内資料を視聴する場合のみ利用可能。

スペース一覧.....

利用申込	室名	収容人数	設備
中央図書館	グループ学習室1	6	14 ホワイトボード、室3のみ黒板あり
	グループ学習室2	8	
	グループ学習室3	8	
	グループ学習室4	12	
	学習個室1	4	20 室1・2のみ可動式ホワイトボードあり
	学習個室2	4	
	学習個室3	1	
学習個室4	1		
学習個室5	1		
視聴覚室	6	ブルーレイ、DVD、LD、ビデオ、CD、カセット、レコード、マイクロフィルム・フィッシュ	
サービスデスク	研修室	28	プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード、可動式ホワイトボード、演台
	不要	プレゼンコーナー	プロジェクター、演台、備え付けPC4台
医学図書館	グループ学習室1	10	ホワイトボード
	グループ学習室2	8	
	学習個室	2	ホワイトボード
	研修室	12	
共通	不要	座席スペース	可動式机、可動式ホワイトボード
		作業スペース	ホチキス、パンチ、セロハンテープ、スライド式カッター
		ラウンジ(ブラウジング)	中央図書館のみ
		PCコーナー	飲み物・軽食自動販売機

利用申込が「HP」のスペースは図書館ホームページからお申込みください。

図書館HPトップ→「中央図(または医学図)施設予約」→必要事項を入力→予約実行(学内のLANに繋がったPCからアクセスしてください)



※申込が必要なスペースは、1団体につき2時間まで利用できます。次の予約が無ければ延長ができます。

【機器提供】

アクティブラーニングに役立つ機器をサービスデスクにて貸し出しています。



- ノートPC(Mac, windows)
- タブレットPC(Surface(中央図書館のみ))
- 持ち運び型プロジェクター
- デジタルビデオカメラ(中央図書館のみ)



▲座席スペースでの授業の様子

教員の方は、これらのスペースを授業やゼミ、イベント等に利用できます。同時間帯に2部屋以上利用したい、ラウンジでイベントを行いたいなど通常の利用では希望に添えない場合はご相談ください。

学術企画担当 内線:2272

中央図書館



1F



グループ学習室



プレゼンコーナー

2F



研修室



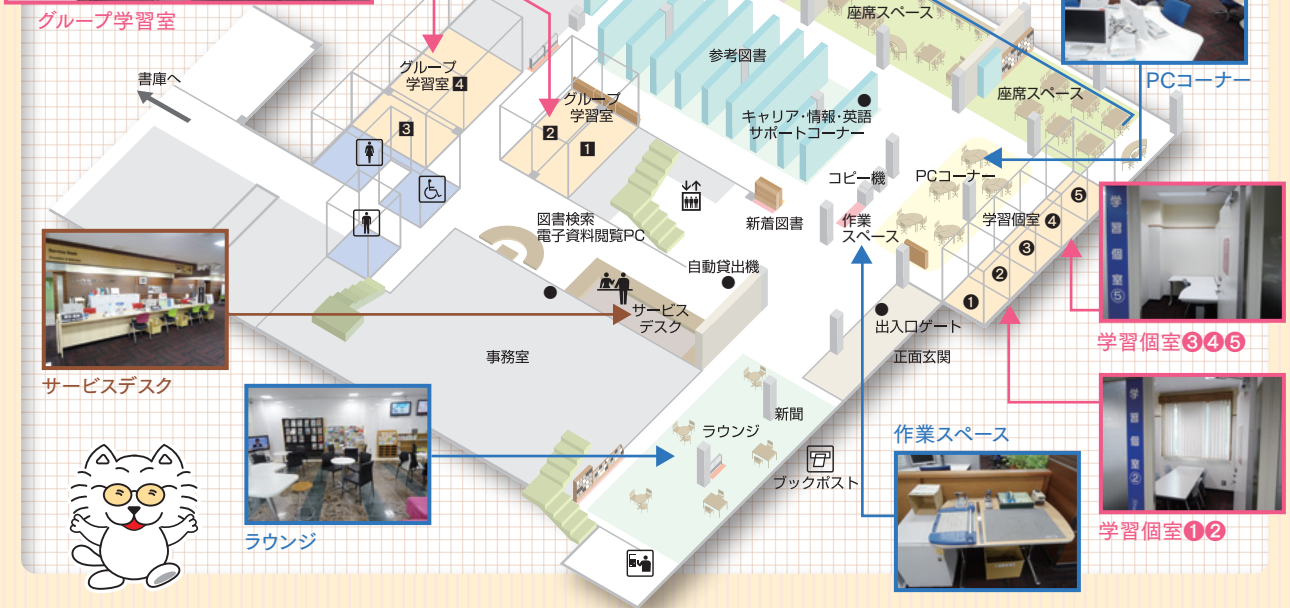
視聴覚室



座席東

座席中

座席西



サービスデスク



ラウンジ



学習個室③④⑤



学習個室①②

医学図書館



学習個室



研修室



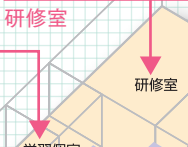
グループ学習室1



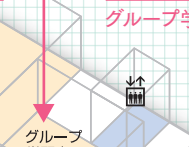
作業スペース



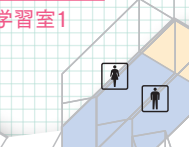
グループ学習室2



学習個室



グループ学習室1



作業スペース



PCコーナー



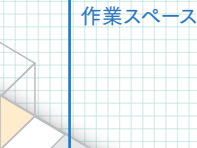
学位論文



秋田コーナー



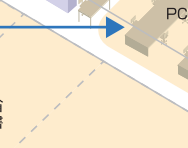
コピー機



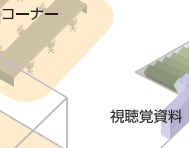
作業スペース



座席スペース



二次資料



AVブース



PCコーナー



サービスデスク



サービスデスク



国内雑誌 (1991年以前)



座席スペース



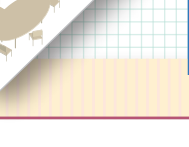
視聴覚資料



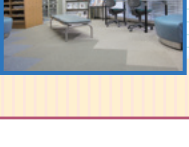
サービスデスク



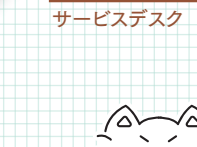
外国雑誌 (1991年以前)



座席スペース



ブラウジングコーナー



サービスデスク



ブラウジングコーナー



本学教職員等 著作寄贈図書

平成26年10月～平成27年9月受入

中央図書館所蔵図書は
「2階F-秋田大学コーナー」にあります。

本学教員が著し、寄贈されたものです。
ありがとうございました。

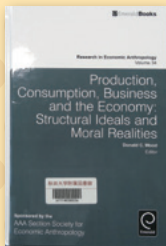
図書館では本学教職員の著作物(単
独著書、共著書、編著書、訳書、分担執
筆、学位論文)を積極的に収集し、利用に
供しています。

中央図書館・医学図書館ともに受け付
けておりますので、出版の折にはご寄贈く
ださるようお願いいたします。



医学部

Donald C. Wood先生



Production, Consumption, Business and the Economy : Structural Ideals and Moral Realities. (Research in Economic Anthropology, Vol.34)

332.1|W86

先生からひとこと
私が2005年から編集を務めるREAは、1978年創刊の経済人類学の学術誌で、人類学の研究者必読の書です。

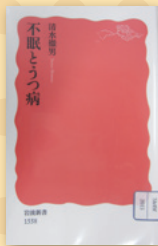


And if Strangers Come to Supper

933.7||W86
933.7||W874a||2015
(医学図書館)

先生からひとこと
この小説は、日本民話『鶴の恩返し』の後日譚をテーマに、舞台を私の故郷テキサスに移し書きあげました。ご一読ください。

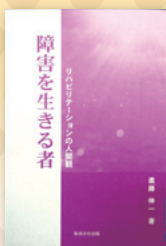
清水徹男先生



不眠とうつ病
080||I95||S1558
WM171||Sh49f||2015
(医学図書館)

先生からひとこと
昔なら、学生さん向けの講義の時間にこんな肩のこらないお話しも出来たんですがね。今は…。

進藤伸一先生



障害を生きる者 : リハビリテーションの人間観
369.27||Sh62
WB460||Sh62s||2015
(医学図書館)



エビデンスに基づく介護予防 : 理学療法からのアプローチ
WB460||Sh62e||2014
(医学図書館)

教育文化学部

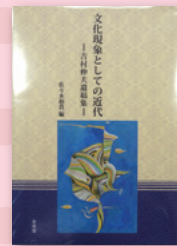
中澤俊輔先生



山川健次郎日記 : 印刷原稿第一～第三、第十五
289.1||Y27

先生からひとこと
秋田県公文書館が所蔵する、元東京帝国大学総長・山川健次郎の大正期の日記写本計四冊を翻刻しました。

佐々木和貴先生



文化現象としての近代 : 吉村伸夫遺稿集
930.25||Y91

先生からひとこと
昨年逝去された17世紀英詩の著名な研究者吉村伸夫氏の主要な論文・講演・翻訳を選んで編んだものです。

鉱業博物館

今井忠男先生



秋田古銭物語 ～阿仁の鉱山(ヤマ)が生んだ貨幣～平成二十四年度第三回鉱業博物館特別展 図録 改訂第2版
337.21||A37

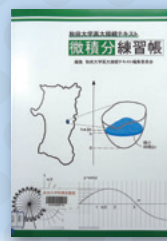
先生からひとこと
この図録は、阿仁鉱山の附属施設である加護山製錬所で、江戸後期に大量に铸造された地方銭および密造銭について書かれたものです。



阿仁の絵巻がつむぐ150年前の銅プラント 平成二十五年第一回鉱業博物館特別展 図録
560.921||A37

先生からひとこと
この図録では、鉱業博物館が所蔵する絵巻「阿仁鉱山 銅山働方之図」(1864年)の全編(8m)の内容を公開し、銅の古式製法について解説しています。

秋田大学教育推進総合センター



微積分練習帳
413.3||Ko17||2015



化学の基礎 Q and A 第2版
430||Ko17



学習のお悩みは「としょサポ」へどうぞ

「としょサポ」って何？

“図書”館で学習を“サポ”ートする学生スタッフです。学習に関する相談ならどんなことでも受け付けます。「先生に話すのはちょっと・・・、」という相談は「としょサポ」へまずはお寄せください。

「としょサポ」にはどんな人がいるの？

大学院2年生から学部2年生まで、総勢13名のスタッフがいます。各メンバーの氏名・学年・所属は、図書館内に一覧を掲示しています。

「研究テーマ

医学部との共同研究として、「悪性腫瘍の温熱療法のためのワイヤレス温度計測・治療システムの研究開発」に従事しています。

例えばこんな人がいます

トン タット ロイ
工学資源学研究科 2年



「図書館職員から見たロイ君

ベトナム出身の彼は、とっても日本語が上手です。また、英語も堪能です。作成した英文を彼にチェックしてもらった時にはとっても助かりました。いつもニコニコと対応してくれるので話しかけやすいと思いますよ。

「いつどのメンバーが図書館にいるの？」

シフト表を図書館サービスデスクに掲示しています。メンバーの1ヶ月の予定が分かるので、お気に入りのとしょサポができればシフトをご確認ください。

受付体制

メンバー数	13名
所属	教育・工学・国際
学年	学部2年～院2年
同時滞在人数	最大3名
滞在時間	平日 16:15～22:00 土日休日 12:00～18:00
長期休業期間	休み

いつでも、どこからでも電子ジャーナル、データベースが利用可能になりました。

平成27年度から本学が学術認証フェデレーション(以下、学認)に参加したことにより、これまで学内でしか利用できなかった本学契約の電子ジャーナルおよびデータベースを、自宅や出張先など学外から下記のとおり利用できるようになりました。

利用対象者

本学の教職員・学生で、AUアカウント(AU-CIS, a-net のID/PW)をお持ちの方

- 常勤教職員(看護師除く)
- 非常勤職員
- 附属病院看護師(副師長以上)
- 附属学校園教諭
- 学生(学部学生・大学院生)

利用方法

図書館ホームページでご確認ください。



対象電子ジャーナル、データベース

Scopus ScienceDirect Wiley Online Library Nature Online SpringerLink
Oxford Online Journal CiNii Articles Maruzen eBook Library

- 上記の電子ジャーナルでも、パッケージ契約対象外のタイトルは利用できません。
- 今後、利用可能になるものについては随時図書館ホームページ等でお知らせします。

附属図書館の1年

附属図書館の業務・トピックの一部を紹介します。



●ビデオカメラ貸出

2014年

10月

- ミニ展示「いきもの」・「スポーツ」
- デジタルビデオカメラの貸出を開始



●リユース市

11月

- 本のリユース市を開催
- ELNET(新聞・雑誌記事紙面データベース)を提供開始
- 医学系文献検索講習会を実施



●生命のメッセージ展

12月

- ミニ展示「伝える力」・「話題の本」



●マナーアップキャンペーン

2015年

1月

- 「ミニ・生命(いのち)のメッセージ展in秋田大学」へ会場を提供
- 飲食マナーアップキャンペーンを実施



●ミニ展示

2月

- ミニ展示「児童書」・「今、東北」



●医学図書館イス更新

3月

- ミニ展示「この本なあに?聞いてごらん」
- 医学図書館のイスを一部更新
- 医学図書館に電子掲示板を新設
- 「秋田大学附属図書館の将来構想を考える(提言)」を公開



●貴重書展示



●commonsレイアウト変更

4月

- ミニ展示「はじめての大学生活」・「はじめての秋田」
- 貴重書展示「教師たちの受難」
- 中央図書館commonsコーナーのレイアウトを変更
- 学術認証フェデレーション(学認)に参加
- 『情報探索ガイドブック2015』を発行
- 医学図書館で「男女共同参画関連図書」の展示を開始

5月

- ミニ展示「伝記」・「話題の本」
- 論文収集講習会実施
- Maruzen eBook Libraryを導入
- 医学図書館の非常照明を更新



●子ども見学デー

6月

- Scopus・Mendeley・出版倫理講習会を開催

7月

- ミニ展示「ひんやり」・「芥川賞・直木賞過去受賞作品」
- 漢籍整理講習会を実施
- 雑誌製本作業



●中学生職場体験

8月

- ミニ展示「戦後70年」
- 子ども見学デー図書館コースを実施
- 中学生職場体験を受入

9月

- ミニ展示「月と〇」・「読書の読書」
- 蔵書点検実施
- 医学図書館の館内照明をリニューアル

ご存知
ですか?

学生選書員って何???

●学生選書員とは?

学生が図書館に置く本を自分で選ぶことができる活動です。「もっと授業や研究に役立つ本がほしい」「専門分野の本が少ない」などと思っている学生の皆さんにオススメ!秋田大学に在籍する学部生・大学院生なら、どなたでも参加できます。

●活動の内容は?

決められた予算内で、図書館に置きたい図書のリストを作成します。

●参加するには?

グループ参加です。友人やゼミの仲間と2名以上のグループを作って参加しましょう。



参加した学生の声!



私は、附属図書館にある資料で学生選書員の存在を知りました。選書の際に研究室の仲間と議論を重ねることで勉強にもなりました。選書した図書は古いもしくは高く、個人では入手しづらいものなので重宝しています。
(大学院工学資源学研究科/1年/Tさん)

館内ポスターで「選書員」という言葉を知りました。ISBNなどの情報は、書店の本で確認。図書のリストアップは、レポート作成と似ていました。図書は、今もしばしば利用しています。「選書員」制度は素晴らしい企画だと思います!
(大学院教育学研究科/3年/Kさん)

●申込方法

メールで応募できます。

●宛先

libtos@jimu.akita-u.ac.jp
件名「学生選書員応募」
本文「代表者氏名、学籍番号、選書したい分野」
申込をいただいた後、メールにて詳細情報をお知らせします。

詳しくは図書館HPをご覧ください。各担当までお問い合わせください。

●お問い合わせ

【中央図書館図書情報担当】

TEL 018-889-2274

【医学図書館】

TEL 018-884-6052

学生の皆さんが選んだ本が図書館の蔵書となります!まずは図書館に応募しましょう!!

図書館の使い方や 機能についてよくある質問 &A

①文献複写、図書の取り寄せ

Q

「秋田大学図書館で所蔵がない資料が他大学等にはあるようです。閲覧する方法はありますか?」

A

資料を他館からコピーまたは現物を取り寄せて閲覧する方法があります。MyLibraryの「文献の複写」、「資料の借用」からお申し込みください(ともに有料)。なお、学生の皆さんについては図書館ホームページから資料のリクエストが可能です。また、館内にリクエストBOXもあります。ただし、本学図書館に所蔵のないもので学習・研究に使う学術的資料に限ります。

②レファレンスサービス・論文講習会

Q

「資料の探し方がわかりません。どのように探したらよいでしょうか。」

A

図書館スタッフが論文収集講習会や資料収集の支援サービスを行っています。また、図書館学生アルバイト「としょサポ」でも相談を受け付けています。是非一度サービスデスクへお越しください。



附属図書館所蔵 鉱山関連絵図・絵巻資料のデジタル化を進めています

附属図書館では鉱山関連の資料を多数所蔵していますが、その中でも貴重な絵図・絵巻をデジタル化し公開します。これまでほとんど目に触れることのなかったこれらの資料がインターネット上で閲覧できるようになります。

平成28年3月公開を目指し準備中です。どうぞご期待ください！

秋田県内4国公立大学図書館共同利用キャンペーンを実施中です

平成27年10月より12月25日まで秋田大学・秋田県立大学・秋田公立美術大学・国際教養大学の4大学図書館が相互利用のための共同キャンペーンを行っています。キャンペーン期間中は各図書館の特徴が表れた所蔵資料約30点を展示(貸出不可)します。展示をご覧になって各大学図書館に興味を持たれましたら是非ご訪問ください。(開館時間、利用者登録の方法などは各館により異なります。訪問の前に共同利用キャンペーン特設サイト(<http://www.lib.akita-u.ac.jp/contents6/kyodo/index.html>)をご確認ください。

秋田公立美術大学附属図書館はこれまで学外者への貸出を行っていませんでしたが、今後はキャンペーン参加大学の学生・教職員に限り貸出を行います。



医学図書館の照明がリニューアルされました

館内レイアウトの変更や照明器具の経年劣化により照度不足となっていた箇所を、省エネ長寿命のLED照明に交換・増設しました。

これで秋田の長く暗い冬も、明るい図書館でばっちり勉強に励めます！

編集後記

近ごろ世の中がざわざわしています。国会審議に度重なる自然災害、個人情報漏えいではいずこも対策に四苦八苦。図書館もご多分に漏れず、国外の電子ジャーナルに消費税が課されることになり為替相場にも右往左往、そこへ持ってきて厳しい予算削減の要求はまさに泣き面に蜂。

でも愚痴ばかり言われてはなりません。このざわついた時代にも、図書館が皆さまの教育・研究において物心両面でよりどころとなれるよう努めます。今号でご紹介したアクティブラーニングもそのひとつ。是非ご利用いただき、図書館がさらにお役に立てるよう、どうか忌憚ない声をお聞かせください。

図書館だより 第73号

2015年10月1日発行

編集 ■ 秋田大学附属図書館出版物編集委員会

発行者 ■ 秋田大学附属図書館

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

中央図書館: Tel: 018-889-2279 Fax: 018-832-4917
E-mail: libriyo@jimmu.akita-u.ac.jp

医学図書館: Tel: 018-884-6052 Fax: 018-884-6252
E-mail: ibun@jimmu.akita-u.ac.jp